

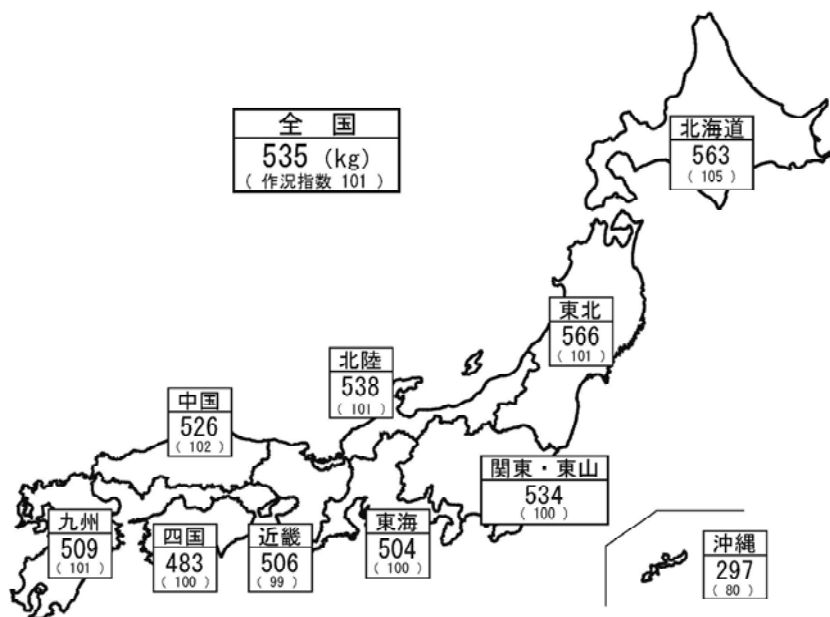
平成23年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況

－ 水稻の10a 当たり予想収量は535kg（作況指数101）の見込み －

【調査結果の概要】

- 1 平成23年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は163万2,000haで、うち主食用作付見込面積は152万6,000haが見込まれる。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、5月下旬から6月中旬にかけての日照不足等の影響がみられたものの、その後の天候がおおむね順調に推移していることから、全国の10a 当たり予想収量は535kg（作況指数101）が見込まれる。
- 3 主食用作付見込面積に10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は815万9,000tが見込まれる。

図 全国農業地域別10a 当たり予想収量（9月15日現在）



注：沖縄の10a 当たり予想収量及び作況指数は第一期稲である。

- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）である。
- 作況指数とは、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり予想収量の比率である。
- この調査は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行ったものである。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

この統計調査結果で使用している統計表は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」でご覧いただけます。

【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

◎ 水稻調査結果の利活用

- ・ 「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」に基づき毎年定めることとされている「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標の策定及び達成状況の確認のための資料
- ・ 「農業災害補償法」に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

◎ 累年データ

水稻の年次別推移（全国）

	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	参 考			作況指数
	うち、子実用	10 a 当たり 収 量			主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	10 a 当たり 平年収量	
昭和56年産	ha	ha	kg	t	ha	t	kg	
57	2,281,000	2,251,000	453	10,204,000	474	96
58	2,261,000	2,230,000	458	10,212,000	477	96
59	2,270,000	2,246,000	459	10,308,000	478	96
60	2,300,000	2,290,000	517	11,832,000	479	108
61	2,326,000	2,318,000	501	11,613,000	481	104
62	2,292,000	2,280,000	508	11,592,000	484	105
63	2,148,000	2,123,000	498	10,571,000	487	102
平成元	2,109,000	2,087,000	474	9,888,000	490	97
2	2,093,000	2,076,000	496	10,297,000	492	101
3	2,071,000	2,055,000	509	10,463,000	494	103
4	2,046,000	2,033,000	470	9,565,000	497	95
5	2,099,000	2,092,000	504	10,546,000	498	101
6	2,131,000	2,127,000	367	7,811,000	499	74
7	2,201,000	2,200,000	544	11,961,000	499	109
8	2,110,000	2,106,000	509	10,724,000	501	102
9	1,980,000	1,967,000	525	10,328,000	502	105
10	1,950,000	1,944,000	515	10,004,000	504	102
11	1,800,000	1,793,000	499	8,939,000	507	98
12	1,786,000	1,780,000	515	9,159,000	512	101
13	1,768,000	1,763,000	537	9,472,000	518	104
14	1,711,000	1,700,000	532	9,048,000	518	103
15	1,693,000	1,683,000	527	8,876,000	522	101
16	1,670,000	1,660,000	469	7,779,000	524	90
17	1,704,000	1,697,000	514	8,721,000	525	98
18	1,709,000	1,702,000	532	9,062,000	527	101
19	1,692,000	1,684,000	507	8,546,000	529	96
20	1,678,000	1,669,000	522	8,705,000	529	99
21	1,637,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	530	102
22	1,637,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	530	98
22	1,657,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	530	98

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積である。

3 「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

【調査結果】

1 平成23年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は163万2,000haで、前年産に比べて2万5,000haの減少が見込まれる。

なお、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた主食用作付見込面積は152万6,000haで、前年産に比べて5万4,000haの減少が見込まれる。

2 9月15日現在における水稻の地域別の作柄は、北海道では、全もみ数は少なくなつたものの、7月以降おおむね天候に恵まれ、登熟は順調に推移していることから、10a当たり予想収量は563kg（作況指数105）が見込まれる。

東北では、5月下旬から6月上旬にかけての低温・日照不足の影響により分けつが抑制されたものの、7月上旬から中旬にかけて気温・日照ともにおおむね平年を上回り、8月以降の気温もおおむね平年を上回っていること等から、10a当たり予想収量は566kg（同101）が見込まれる。

関東以西では、5月下旬から6月中旬にかけて日照不足等があったものの、その後の天候がおおむね順調に推移していることから、北陸は10a当たり予想収量538kg（同101）、関東・東山は534kg（同100）、東海は504kg（同100）、近畿は506kg（同99）、中国は526kg（同102）、四国は483kg（同100）、九州は509kg（同101）が見込まれる。

この結果、全国の10a当たり予想収量は535kg（同101）が見込まれる。

3 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は815万9,000tが見込まれる。

表 平成23年産水稻の作付面積及び9月15日現在の10a当たり予想収量(作況指数)
(全国農業地域別)

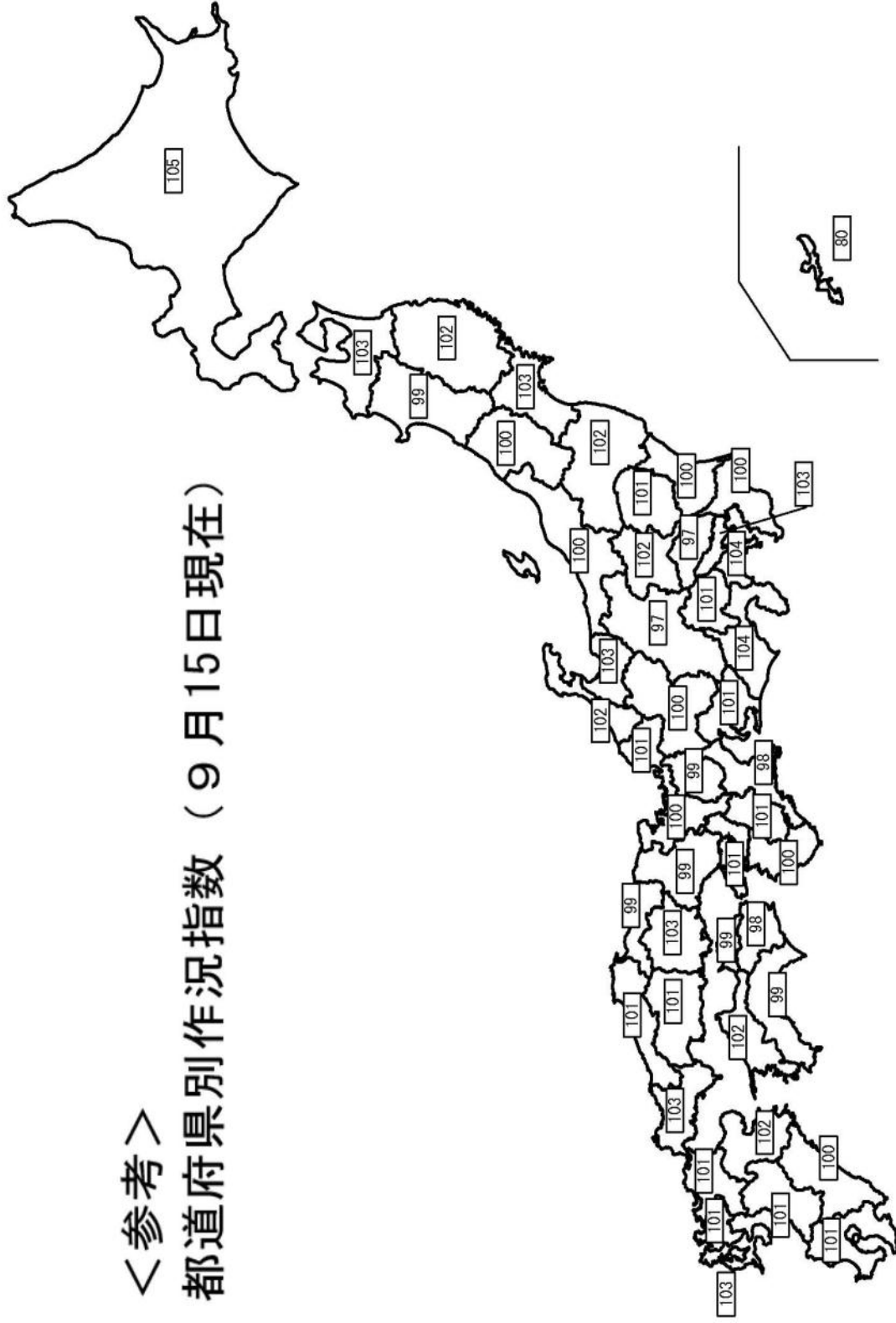
全国農業地域	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり 予想収量 ① kg	参 考			
	実 数	前年産との比較			主食用作付 見込面積 ② ha	予想収穫量 (主食用) ③=①×② t	10a当たり 平年収量 ④ kg	作況指数 ⑤=①/④
		対 差	対 比					
全 国	1,632,000	△ 25,000	98	535	1,526,000	8,159,000	530	101
北 海 道	114,000	△ 1,100	99	563	109,100	614,200	535	105
東 北	406,200	△ 22,100	95	566	370,900	2,099,000	558	101
北 陸	212,900	△ 100	100	538	195,500	1,052,000	533	101
関 東・東 山	305,000	700	100	534	289,700	1,547,000	535	100
東 海	105,400	△ 600	99	504	101,500	512,000	503	100
近 畿	110,700	△ 400	100	506	107,700	545,000	509	99
中 国	118,600	△ 700	99	526	113,200	595,300	517	102
四 国	57,500	△ 900	98	483	55,900	270,100	484	100
九 州	200,600	△ 100	100	509	181,300	921,600	503	101
沖 縄	625	△ 12	98	297	370	80

注：1 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）である。

2 主食用作付見込面積及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

3 沖縄は第一期稲である。なお、主食用作付見込面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

＜参考＞
都道府県別作況指数（9月15日現在）



注：1 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。
2 沖縄県の作況指数は第一期稲である。

【統計表】

統計表一覧

ページ

- 1 平成23年産水稻の作付面積、10 a 当たり予想収量及び作柄概況(9月15日現在)
・・・・・・・・・・ 6
- 2 平成23年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合(9月15日現在)・・・・・・・・ 8

利用上の注意

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数(下から)		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前(原数)	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後(統計数値)	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は以下のとおりである。
「-」：事実のないもの
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「△」：負数又は減少したもの

1 平成23年産水稲の作付面積、10a当たり予想収量及び作柄概況（9月15日現在）

全 国 都道府県	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり 予想収量 ①	参 考 主食用作付見込面積 ②
	実 数	前年産との比較			
		対 差	対 比		
	ha	ha	%	kg	ha
全 国 (1)	1,632,000	△ 25,000	98	535	1,526,000
北 海 道 (2)	114,000	△ 1,100	99	563	109,100
青 森 (3)	50,700	300	101	597	45,500
岩 手 (4)	57,000	△ 600	99	546	52,200
宮 城 (5)	69,600	△ 6,500	91	547	66,100
秋 田 (6)	92,900	100	100	569	79,300
山 形 (7)	69,600	△ 100	100	594	63,600
福 島 (8)	66,500	△ 15,400	81	549	64,100
茨 城 (9)	77,700	△ 600	99	523	74,600
栃 木 (10)	67,600	1,800	103	546	61,500
群 馬 (11)	18,700	200	101	504	16,800
埼 玉 (12)	36,100	0	100	479	34,900
千 葉 (13)	61,800	△ 400	99	533	59,800
東 京 (14)	165	△ 14	92	424	165
神 奈 川 (15)	3,220	0	100	510	3,210
新 潟 (16)	120,000	400	100	539	108,100
富 山 (17)	39,600	△ 300	99	553	36,500
石 川 (18)	26,500	△ 100	100	528	25,200
福 井 (19)	26,800	△ 200	99	523	25,600
山 梨 (20)	5,300	0	100	552	5,260
長 野 (21)	34,500	△ 300	99	607	33,700
岐 阜 (22)	25,500	0	100	488	24,500
静 岡 (23)	17,900	0	100	542	17,200
愛 知 (24)	31,200	0	100	511	30,000
三 重 (25)	30,900	△ 400	99	488	29,900
滋 賀 (26)	33,400	0	100	513	32,100
京 都 (27)	15,700	△ 100	99	511	15,400
大 阪 (28)	5,740	△ 80	99	500	5,730
兵 庫 (29)	38,800	△ 200	99	498	37,600
奈 良 (30)	9,380	△ 20	100	518	9,270
和 歌 山 (31)	7,590	△ 30	100	497	7,590
鳥 取 (32)	14,700	100	101	508	13,900
島 根 (33)	20,000	100	101	514	18,800
岡 山 (34)	34,300	0	100	540	32,700
広 島 (35)	26,200	△ 300	99	530	25,500
山 口 (36)	23,400	△ 600	98	519	22,400
徳 島 (37)	13,700	0	100	466	13,200
早期栽培 (38)	5,340	10	100	449	...
普通栽培 (39)	8,340	△ 40	100	476	...
香 川 (40)	14,800	△ 500	97	494	14,500
愛 媛 (41)	15,500	△ 400	97	510	15,300
高 知 (42)	13,500	0	100	457	12,900
早期栽培 (43)	7,930	△ 20	100	466	...
普通栽培 (44)	5,560	△ 20	100	444	...
福 岡 (45)	40,300	△ 100	100	506	38,100
佐 賀 (46)	27,300	△ 800	97	533	26,400
長 崎 (47)	14,200	0	100	488	13,700
熊 本 (48)	44,000	500	101	519	37,300
大 分 (49)	25,800	100	100	515	23,400
宮 崎 (50)	23,500	300	101	495	18,800
早期栽培 (51)	9,090	△ 350	96	462	...
普通栽培 (52)	14,400	700	105	519	...
鹿 児 島 (53)	25,600	0	100	485	23,500
早期栽培 (54)	6,420	△ 20	100	428	...
普通栽培 (55)	19,200	0	100	502	...
沖 縄 (56)	927	△ 33	97	...	918
第一期稲 (57)	625	△ 12	98	297	...
第二期稲 (58)	302	△ 21	93

注：1 沖縄県平均の10a当たり予想収量及び作況指数は第二期稲が出穂前であるため「…」で示しており、沖縄県計の予想収穫量（主食用）の算出には10a当たり平年収量を用いた。

2 主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）である。

予想収穫量(主食用) ③=①×②	10a当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤=①/④	平 年 比 較			
			穂数の多少	1 穂 当 た り も み 数 多 少	全 も み 数 の 多 少	登熟の良否
t	kg					
8,159,000	530	101	…	…	…	…
614,200	535	105	少 ない	多 い	少 ない	良
271,600	582	103	やや少ない	やや多い	やや少ない	良
285,000	533	102	少 ない	多 い	平年並み	や や 良
361,600	530	103	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
451,200	573	99	少 ない	多 い	やや少ない	平年並み
377,800	594	100	少 ない	多 い	平年並み	平年並み
351,900	537	102	やや少ない	やや多い	平年並み	や や 良
390,200	522	100	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良
335,800	540	101	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み
84,700	494	102	やや多い	やや多い	多 い	やや不良
167,200	493	97	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
318,700	533	100	やや少ない	やや多い	平年並み	や や 良
700	411	103	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
16,400	490	104	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
582,700	539	100	やや少ない	多 い	やや多い	やや不良
201,800	535	103	やや少ない	多 い	やや多い	平年並み
133,100	519	102	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
133,900	517	101	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
29,000	547	101	やや少ない	多 い	やや多い	平年並み
204,600	623	97	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
119,600	488	100	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
93,200	521	104	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
153,300	507	101	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
145,900	500	98	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良
164,700	518	99	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
78,700	511	100	少 ない	多 い	やや少ない	や や 良
28,700	495	101	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
187,200	504	99	少 ない	やや多い	やや少ない	平年並み
48,000	513	101	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み
37,700	495	100	やや少ない	多 い	やや多い	やや不良
70,600	514	99	少 ない	多 い	やや少ない	平年並み
96,600	509	101	少 ない	多 い	やや多い	やや不良
176,600	526	103	やや少ない	多 い	やや多い	やや不良
135,200	523	101	少 ない	多 い	やや多い	やや不良
116,300	504	103	平年並み	多 い	多 い	やや不良
61,500	474	98	…	…	…	…
…	463	97	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
…	480	99	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良
71,600	499	99	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
78,000	498	102	やや少ない	多 い	やや多い	平年並み
59,000	460	99	…	…	…	…
…	481	97	少 ない	多 い	やや少ない	平年並み
…	430	103	やや少ない	多 い	やや多い	平年並み
192,800	499	101	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
140,700	527	101	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
66,900	476	103	やや多い	やや少ない	平年並み	や や 良
193,600	515	101	平年並み	平年並み	平年並み	や や 良
120,500	503	102	やや少ない	多 い	やや多い	やや不良
93,100	497	100	…	…	…	…
…	480	96	やや少ない	やや少ない	少 ない	や や 良
…	511	102	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み
114,000	481	101	…	…	…	…
…	441	97	少 ない	平年並み	少 ない	良
…	493	102	平年並み	やや少ない	やや少ない	や や 良
2,840	309	…	…	…	…	…
…	370	80	やや少ない	やや少ない	やや少ない	不 良
…	…	…	…	…	…	…

3 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の早期・普通期別等の主食用作付見込面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

4 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を早期・普通期別等に行っており県平均を取りまとめていないため、「…」で示している。

2 平成23年産水稲の出穂期及び刈取済面積割合（9月15日現在）

都道府県	出穂期						刈取済面積割合		
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較					
				対平年差	対前年差				
月	日	月	日	月	日		%		
北海道	7.	27	8.	1	8.	7	1日早	5日遅	8
青森	8.	3	8.	6	8.	10	2日早	4日遅	0
岩手	8.	3	8.	7	8.	14	1日早	3日遅	1
宮城	8.	3	8.	7	8.	12	並み	4日遅	1
秋田	8.	2	8.	6	8.	11	並み	3日遅	0
山形	8.	4	8.	8	8.	15	並み	4日遅	0
福島	8.	7	8.	13	8.	18	並み	5日遅	0
茨城	7.	23	8.	5	8.	16	1日遅	5日遅	60
栃木	7.	30	8.	6	8.	20	並み	3日遅	12
群馬	8.	10	8.	21	8.	30	2日早	3日遅	2
埼玉	7.	27	8.	12	8.	28	1日早	1日遅	37
千葉	7.	17	7.	29	8.	8	並み	4日遅	93
東京都	8.	11	8.	16	8.	25	1日早	3日遅	1
神奈川県	8.	6	8.	13	8.	21	1日遅	4日遅	4
新潟	7.	28	8.	7	8.	14	3日早	並み	30
富山	7.	22	8.	4	8.	13	3日早	1日早	33
石川	7.	20	8.	1	8.	10	3日早	2日早	62
福井	7.	18	8.	2	8.	11	並み	2日早	81
山梨	8.	5	8.	13	8.	22	1日早	2日遅	4
長野	8.	1	8.	9	8.	16	1日早	3日遅	4
岐阜	7.	22	8.	21	9.	2	1日遅	2日遅	27
静岡県	7.	23	8.	11	9.	1	2日早	2日遅	40
愛知県	7.	26	8.	18	9.	3	並み	1日遅	29
三重	7.	17	7.	26	8.	10	並み	1日早	92
滋賀	7.	28	8.	3	8.	18	1日早	並み	49
京都	7.	25	8.	6	8.	18	3日早	並み	37
大阪	8.	2	8.	23	8.	31	1日遅	1日遅	7
兵庫	7.	30	8.	13	8.	28	1日早	1日遅	35
奈良	7.	31	8.	22	8.	28	1日早	並み	10
和歌山	7.	21	8.	8	8.	23	並み	並み	38
鳥取	7.	31	8.	9	8.	19	並み	2日遅	30
島根	7.	21	8.	5	8.	17	並み	並み	49
岡山	7.	30	8.	20	9.	2	並み	2日遅	23
広島	7.	28	8.	11	8.	23	1日遅	並み	38
山口	7.	29	8.	9	8.	28	3日早	並み	41
徳島	7.	8	7.	17	7.	25	並み	1日早	100
香川	7.	18	8.	1	8.	27	2日早	並み	70
愛媛	7.	23	8.	21	9.	2	1日早	並み	38
高知	7.	18	8.	14	9.	3	並み	1日早	40
高知	6.	29	7.	7	7.	16	1日早	4日早	100
福岡	8.	14	8.	21	9.	5	並み	1日遅	1
福岡	8.	2	8.	24	9.	4	並み	2日遅	15
佐賀	7.	24	8.	27	9.	10	1日遅	1日遅	9
長崎	7.	20	8.	27	9.	5	2日遅	2日遅	15
熊本	7.	13	8.	22	9.	6	1日遅	2日遅	7
大分	8.	3	8.	27	9.	3	3日遅	3日遅	4
宮崎	6.	23	6.	28	7.	3	並み	4日早	100
宮崎	8.	19	8.	26	9.	3	1日遅	2日遅	0
鹿児島	6.	24	7.	1	7.	10	2日遅	1日遅	100
鹿児島	8.	22	8.	28	9.	6	1日遅	1日遅	-
沖縄	5.	16	5.	30	6.	14	11日遅	15日遅	100

注：出穂期の始期とは出穂済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲作付面積調査及び水稲作柄概況調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

3 調査対象数

(1) 作付面積調査

標本単位区：38,981単位区 巡回・見積り：1,725市町村

(2) 作柄概況調査

作況標本筆調査：10,188筆 作況基準筆調査：654筆 巡回・見積り：1,725市町村

4 調査事項

水稲の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

5 調査期間

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 作柄概況調査：9月15日現在

6 調査方法

(1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。

(2) 作柄概況調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

7 集計方法

(1) 作付面積調査

対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。

(2) 作柄概況調査

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

8 用語の解説

(1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指す。

(2) 「穂数の多少」は、1㎡当りに出穂した全ての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

(3) 「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についている全てのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

(4) 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりの全てのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

(5) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。

(6) 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1㎡当たり穂数等）の平年値との比較である。

多 少 (良 否)	少ない (不良)	やや少ない (やや不良)	平年並み	やや多い (やや良)	多 い (良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

(7) 「作況指数」とは、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり予想収量の比率である。

(8) 「10a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10a 当たり収量をいう。

9 利用上の注意

本調査（9月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

【ホームページ掲載案内】

○各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報でご覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

【関連リンク】

米 関 係 ペ ー ジ : 農林水産省 > 組織・政策 > 生産局 > 米と麦

<http://www.maff.go.jp/j/soushoku/keikaku/soukatu/>

問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3682

(直通) 03-3502-5687

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3681

(直通) 03-6744-2045

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3589

(直通) 03-6744-2037